

インターネット万国博覧会が変えるもの

～電子情報時代のワールドフェアを目指して～

対談

カール・マラムッド

Carl Malamud

世界初のネットワーク上のラジオ局「インターネット・マルチキャストサービス」の創業者兼社長。

VS

村井純

Murai Jun

慶應義塾大学環境情報学部助教授。
日本のインターネット界の育ての親。

VS

伊藤穰一

Ito Joichi

ECCOSYS代表取締役。



今から約1世紀半前の1851年、ロンドンで行われた第1回の万国博覧会に、人々は新しい産業の息吹を感じた。会場になった水晶宮は、今日の公共建築のモデルとなった。そして21世紀を目前に迎えた1996年、万国博覧会はロンドンでもニューヨークでもない、世界万国に広がる電子空間の中で行われる。正式名称は「インターネット1996 ワールドエキスポポジション」（以下、ワールドエキスポと略）。この世界初のインターネット万国博覧会のために米国のMCI、日本のKDD、NTTの3社の協力で、日米間に45Mbit/s（メガビット）の国際回線が敷かれる。この大専用回線を使って世界の人々がいろいろな形でエキスポに参加する。96年、インターネットという新産業が何を変えるのか。その中心的役割を担うインターネット界のリーダー、カール・マラムッド、村井純、伊藤穰一の各氏にそれぞれの思いを語っていただいた。

——いよいよ日本でも公式に発表されたワールドエキスポですが、まずマラムッドさん、このアイデアが生まれたきっかけからどうぞ。
カール・マラムッド（以下CM）●僕がインターネットでラジオ局を運営するにあたって、ラジオの歴史を調べたら、ラジオが人々の前に姿を現したのはワールドフェアという場だった。その後も、電気や電話、車などさまざまな技術が、常にフェアの場を借りて発表されてきた。まさにそれと同じように今度は僕たちが、コンピュータによるインフラを社会にもたらしたい、だから今回のワールドエキスポを考えたのです。アーティスト、政治家、

企業、一般の人々、すべての人間が肩を並べて取り組むものをね。

村井●僕たちエンジニアが最初から一番興味があったことは、ネットワークに参加する人がどんどん広がったときにどう社会に影響を及ぼすのか、ということだった。さらにつきつめていくと、どうも新しい町の形態のモデルができそうということが分かった。ネットワークには広場、パークといったイメージもあるように、社会に存在するさまざまなものをモデル化できる。社会づくり、国づくりがサイバースペース上で実験されるときが来たと考えていいと思う。

——伊藤さんはこのワールドエキスポのあり方をどのように考えていますか。

伊藤●僕の役割はコンテンツ（内容）作りです。マルチメディアという言葉を一一般の人はまだよく理解していないでしょう。企業にせよ、マルチメディア委員会なんていうものを作った方がいいが、中心になっているおじさん世代が実は全然分かっていないことが多いのですが、だからワールドエキスポをやることで、インターネットのグローバルな感覚をすべての世代の人々に本当に理解してもらいながら進んでほしいですね。——今回日米間、日本国内に敷かれた45Mbit/s回線は、どんなにすごいものなのですか。

CM●まずこれぐらいの大容量回線というの

「インターネット1996 ワールドエキスポポジション」とは

世界各国につながるインターネットの上で1996年の1月1日から世界各国同時進行で1年間開催される、世界初のオンライン版・万国博覧会。各国、各企業のバビロンや催しなどを、すべてインターネットという電子スペースの上で実現し、未来的情報社会を描こうとする試みだ。現在の参加予定国は、アメリカ、英国、オランダ、カナダ、フランス、タイ、シンガポール、韓国、日本など。会期中のこの電子スペースへは、インターネットが接続している世界100カ国以上から5000万人ほどのアクセスが期待されている。出展参加者は、一般企業から中央諸官庁、地方自治体、個人に至るまで制限は一切ない。各国語を主体と

し、だれでも好きな形で参加することができる。

全総括役として国際実行委員会があるほか、日本では組織委員会と実行委員会（委員長・村井純氏）、技術支援グループであるWIDEプロジェクトが一丸となって、日本特有の企画を進めており、さらに一般企業や個人の参加も呼びかけている。

このイベントに関するお問い合わせは「インターネット1996 ワールドエキスポポジション」準備室（TEL03-3266-2494/FAX 03-3266-2509）まで。企業、個人を問いません。

はWWWを楽に見たり、画像や音声を現実的な速度で転送できる利点が大いなのですが、ひとつ上の155Mbit/sだと今度は現状の機械の性能が追いつかない。かといって45Mbit/sより下というのは今、買おうと思えば買えてしまう。夢と現実の間のちょうどいいバランスのところで45Mbit/sになったんです。伊藤●たとえば長野オリンピックだったら、インターネットの45Mbit/sを使うと、一度に30の動画チャンネルで同時進行の競技が放映できたりしますね。

村井●10年先ではなく2、3年後に現実になることをやるつもりなんです。日本では、環境をテーマにした情報発信をしたり、泳ぐ魚や走っている車にインターネットを接続して動きを追うような先端的な実験もします。それから、家庭におけるインターネットのあり方を探るということで、300家庭に実験的に接続します。読者の皆さん、ぜひ応募してください（注：応募方法は右記を参照）。

CM●インターネットが単に技術者のための優れた技術として存在するだけでなく、政府が、アーティストが、メディアが参加するようなものにするのが、エキスポの最終目的です。何年もの間、技術者たちが培ってきた研究技術を、家庭、ホワイトハウス、水族館、車といったごく身の回りのものにまでもたらすところに、エキスポの意味があるんです。

村井●予想もつかない新しいことに役に立ってほしいですね。インターネットは別にテレビと比較するものではないんです。インターネットで動画が少し速く送れたからといってテレビのまねをするのは邪道な話。大事なものは、新しいテクノロジーを利用して今後どん

な新しいコミュニケーションが発明され、それによって社会がどれだけ変わるかを、人間が考えていくことなんです。

一技術的にはもう熟している時期ですね。

CM●1996年は挑戦の年。ワールドエキスポではずみをつけ、終わった1年後にようやく本物のものとして社会の中で稼働し始めるぐらいに進むといいですね。

村井●あと、僕らよりずっと若い世代がこのエキスポで何をしてくれるかを、すごく期待しています。彼らが「自分たちの力で新しい世界の構造をつくるんだ」というぐらい

の意識を持ってくれるといいなあと思うね。

伊藤●先生の学生さんたちぐらいの世代ですね。もし45Mbit/sが現実のものになったら、面白がる若者はいっぱい出てくるはず。

CM●個人でも企業でも、いろいろなアイデアを持って参加してほしいね！

一まさにインターネット世代に期待したいところですね。どうぞ皆さん頑張ってください。今日はありがとうございました。

このページでは、ワールドエキスポの今後の進行状況のほか、マルチメディア、インターネットに関係するさまざまなプロジェクトの動向をお伝えしていきます。

あなたの家庭にインターネットがやってくる！

～専用128Kbit/sアクセス回線モニター大募集～

インターネット1996ワールドエキスポジション（主催：インターネット1996ワールドエキスポジション組織委員会）では、インターネットの普及啓蒙をはかるため、一般家庭を中心に128Kbit/sという高速のインターネット1996ワールドエキスポジション（以下エキスポ）専用アクセス回線を提供し、インターネットの未来の環境を広く一般の方々に体験していただきながら、次世代の情報環境の中でライフスタイルや創造活動がどのように変化するかをモニターしたいと考えています。ここに接続を希望する方を公募いたします。ふるってご応募ください。

募集人数●150家庭（または個人・グループ）

選考方法●論文による選考

論文テーマと字数●「もしわが家に（128Kbit/sの）インターネットがやってきたらこんなふうに使ってみたい」800字以上2000字以内
選考方法と選定基準●エキスポ日本組織委員会から指名を受けた複数の選定委員による論文審査。一般の方々のインターネット利用の先進的な事例として、情報を受信するだけでなく、情報発信も含めて個人やグループがインターネットと接続することで、インターネットそのものが豊かになる参加のあり方、という基準で選定します。

応募資格●96年12月31日まで継続して利用して下さる方で以下の地域にお住まいの方。

<東京（23区）/大阪/札幌/仙台/長野/名古屋/金沢/広島/松山/福岡の各市内>

性別年齢国籍職業は不問。利用期間中と終了後、主催者の利用調査にご協力いただきます。

応募方法●封書または電子メールでお願いします。応募された論文は返却しません。また応募された論文は、エキスポの広報を目的として、主催者が利用する権利を持つものと

します。なお、論文には〔応募者の氏名、住所、年齢、職業、性別、連絡先、回線（端末）設置場所、回線設置場所の連絡電話番号/責任者の氏名〕を必ず記入して送付してください。

応募の宛先●インターネット1996ワールドエキスポジション事務局（財）テレコム高度利用推進センター内 東京都港区麻布台1-11-10 日経22ビル内（TEL:03-3583-2637 FAX:03-3583-2638）

電子メール：128KTTTH@expo96.ad.jpまで。

締め切り●95年10月30日（月）当日必着。

発表●95年11月10日（金）発表は主催者からの通知によって行います。

提供内容●128Kbit/sのエキスポ専用アクセス回線を、1996年12月31日まで無料で使用できます。エキスポ専用アクセス回線の引き込みと撤去工事、および回線使用料を主催者側で負担いたします。

注意●利用場所は応募者が利用する端末設置場所に限定させていただきます。転居の場合はその時点をもって資格を失効されます。利用に当たっての機器、ソフト等については主催者側で準備中ですが、利用者の負担でご用意いただく場合があります。利用に当たっては主催者と覚書を交換させていただきます。住居内への引き込み工事等については、回線工事業者と相談の上決めさせていただきます。エキスポ専用アクセス回線に関する以外のトラブル、相談等は主催者では受け付けられません。当選の権利は他者に譲ることはできません。主催者が不当と認める利用をした場合、権利が剥奪されることがあります。

問い合わせ先●インターネット1996ワールドエキスポジション事務局（財）テレコム高度利用推進センター内（TEL:03-3583-2637 FAX:03-3583-2638）電子メール：info-128@expo96.ad.jpまで。



すでに公開されているエキスポ関連のホームページ。マラムッド氏の運営している「Town Hall」の中にある。